マイワシ
太平洋系群

主な漁業と漁期

未成魚・成魚　まき網：周年
　　定置網：周年
マシラス　　船曳網：3月～5月

生　態

マイワシは日本に生息する代表的な浮魚で、大規模な資源変動を示すことが知られています。

●分布・回遊

資源の高水準期には日本近海を中心に黄海・東シナ海から日本海全域と北西太平洋に広く分布しています。低水準期には分布が縮小します。

静岡県海域に分布するマイワシは太平洋系群に属しています。太平洋系群の0歳魚は親潮域も含めた北西太平洋の広域に分布します。1歳以上は黒潮周辺で索餌回遊するもの、北方へ索餌回遊するものがいます。近年は資源量の増加により、道東沖まで回遊しています。

●産卵期・産卵場

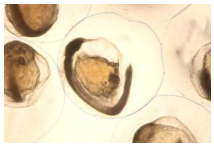
産卵期：11～翌年6月で、最盛期は2～4月。

産卵場：近年は四国沖から関東近海までの黒潮内側域に形成されています。

●成長・成熟

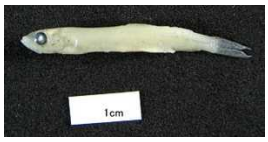
寿命は7歳程度です。資源水準によって成長は異なりますが、平均的には3歳で被鱗体長20cm以上に成長します。

近年は1歳で20%、2歳以上で100%が成熟します。



マイワシの卵

産まれた卵（左）は3日で孵化し、マシラスになります。



マシラス

産まれてから1ヶ月余りで、体長3cmほどに成長します(左)。

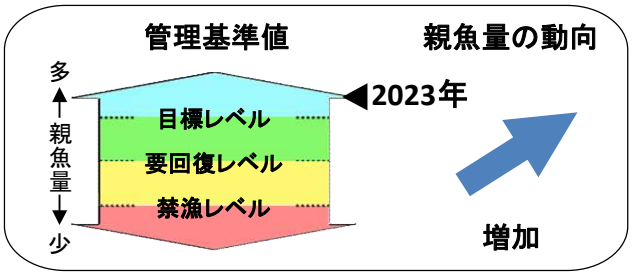
大羽イワシ

大羽イワシ（体長20cm、体重100g）には、産まれてから3年ほどかかります(左)。

漁　業　・　資　源　動　向

【資源】

マイワシ太平洋系群は、最大持続生産量（長期的に漁獲量が最大となる資源状態を維持することで得られる漁獲量。以下、MSY。）に基づいた資源管理を行っています。



1 2023年の親魚量は279万トンと推定され、MSYを実現する目標レベル（119万トン）を上回っています。また、漁獲圧はMSYを実現する水準を上回っています。

2 親魚量の動向は、近年5年間の推移から増加と判断されます。

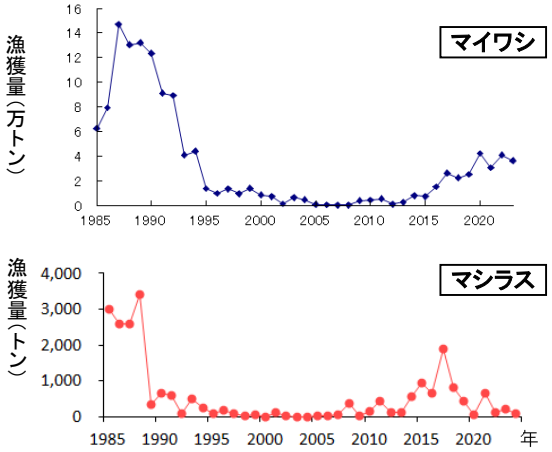
《国の資源評価へのリンクはこちら》
要約
http://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/08/simple_2024_01.pdf
詳細
https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/details_2024_01.pdf

【漁業】

1 静岡県では、主にまき網や定置網で漁獲されており、仔魚期は船びき網でシラス（マシラス）として漁獲されます。

2 県内の漁獲量は1987年のピーク後に急減し、1995年以降は低迷していましたが、2014年以降、増加傾向にあります。

3 県内のマシラスの漁獲量は1990年以降、低迷していました。2014年以降は増加傾向にありましたが、2017年をピークに再び減少しています。



静岡県のマイワシ（上）、マシラス（下）の漁獲量の推移

担当者の一言：入梅時のマイワシは脂がのってとてもおいしい魚です。

問合先	静岡県水産・海洋技術研究所資源海洋科　054-627-1817